

資料 6 - 1

第 5 回府中市総合計画審議会会議録（要旨）

■開催日時 令和 7 年 3 月 2 4 日（月）午後 3 時 0 0 分～午後 5 時 0 0 分

■開催場所 府中市役所おもや 4 階 第 1 特別会議室

■出席委員 2 3 名（五十音順）

秋池 潔委員、秋山賢太郎委員、秋山としゆき委員、市川耕作委員、伊藤敏春委員、小野寺 淳委員、金子 憲副会長、古森寛樹委員、小山有彦委員、志水清隆委員、竹内祐子委員、田中亜衣子委員、長崎益治委員、中島正裕会長、にしみや幸一委員、西村 陸委員、林 宏信委員、藤野暢幸委員、前川浩子委員、宮田よしひと委員、谷田部知津子委員、山口真佐子委員、山本真実委員

■欠席委員 7 名

青山 亨委員、菊地端夫委員、田中勝彦委員、中村洋子委員、峯 佳毅委員、吉垣親伸委員、渡辺浩章委員

■出席説明員等

石橋政策経営部長、佐々木政策経営部行政改革担当参事兼行政経営課長、大井政策経営部次長兼政策課長、南學政策課長補佐兼総合計画担当副主幹兼市制 7 0 周年記念事業担当副主幹、大木行政経営課長補佐、野間政策課主査、橋本行政経営課主査、川村行政経営課主査、岡田政策課主任、兵動政策課主任、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社土方氏

■傍聴者 1 名

■議事内容

1 開会

2 確認事項

(1) 第 4 回府中市総合計画審議会会議録（要旨）について

3 審議事項

(1) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案修正案（基本目標 1・2）について

(2) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案（基本目標 3）について

(3) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案（基本目標 4）について

4 その他

資料 6 - 1

■会議録（要旨）

○中島会長 ただいまから、第5回府中市総合計画審議会を始めます。事務局は委員の出席状況を報告してください。

○事務局 出席状況を報告します。
（出席状況及び会議有効成立の報告）

○中島会長 次に、事務局は本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○事務局 1名の傍聴希望者がいます。

○中島会長 傍聴を許可してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

○中島会長 事務局は案内してください。

（傍聴者入場）

○中島会長 次に、本日の配付資料について事務局から説明してください。

○事務局 本日の資料は、事前に郵送した10点と、本日机上で配付した4点です。
（配付資料の確認）

確認・審議事項

○中島会長 次第2（1）「第4回府中市総合計画審議会議事録（要旨）（案）」について、期日までに事務局に修正等の連絡はありましたか。

○事務局 期日までに修正等の連絡はございませんでした。

○中島会長 修正や意見がある方はいませんか。特になければ、第4回審議会会議録及び資料を確定します。事務局は速やかに公開の手続きをしてください。

○中島会長 それでは、本日審議を行う素案について、起草委員長である金子副会長より報告をお願いします。

資料 6 - 1

○金子副会長 本日提出した素案は、審議会委員から頂いた意見を踏まえ、起草委員会で審議を行った結果を反映したものです。

○中島会長 審議に当たり、資料や考え方を共有するため事務局より説明してください。

○事務局 配付資料 5 - 2 から 5 - 6 に基づき説明します。
(資料の詳細説明)

○中島会長 説明があった通り、素案は既に起草委員会で審議され、盛り込むべき視点等の確認がなされています。それを踏まえて更に調整すべき点などを委員の皆さまからご発言ください。

それでは、次第 3 (1) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案修正案 (基本目標 1・2) の審議に入ります。審議前に事務局から報告事項はありますか。

○事務局 ご確認いただくに当たり、指標の考え方について説明します。
(指標について、中間アウトカム指標の考え方を中心に説明)

○中島会長 何か確認したい点や質問等がありますか。

○秋池委員 素案にある指標は、既に初期又は中間アウトカム指標となっているか。

○事務局 原則、中間アウトカム指標を設定していますが、性質上困難な場合には初期アウトカム指標等を設定しました。これから新たに設定し直すものではありません。

○秋池委員 前期計画が動いているが、関連はどうか。

○事務局 前期計画では、主に初期アウトカム指標を設定しました。当該計画期間 4 年間における目標値を定めており、後期計画まで繋がるものではないことから、齟齬は生じないと考えています。

○中島会長 その他に何かありますか。なければ、素案修正案について何かありますか。

○前川委員 語の注釈は、巻末より施策の見開きの中にある方が参照しやすく良い。巻末にまとめる場合は、施策順にするなど引きやすくなる工夫をしてほしい。

資料 6 - 1

○中島会長 事務局は検討してください。その他に何かありますか。なければ、審議事項（２）第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案（基本目標 3）の審議に進みます。事務局は、施策の枠組にかかる変更などがあれば報告してください。

○事務局 施策名称の変更について、4 件の提案がございます。

○中島会長 何か確認することはありますか。なければ、施策順でなくて良いので、素案の内容について意見や質問がある方はご発言ください。

○秋池委員 施策 40 について、現状と課題で自治会加入率の低下に触れており、指標では加入率の維持を目標としている。一方で、主要な取組では加入率の増加に資する記載が見られないがどのような考えか。

○事務局 事務事業単位で変更がある場合にも、施策としては出てこない部分がありますので、表現については主管部と調整します。

○秋池委員 後期計画で変更点が見えないのは違和感があるので、自治会加入率の低下に歯止めをかけるという趣旨が分かるようにしてほしい。

○前川委員 施策 35 について、現状と課題及び施策の方向性に市民団体との連携を入れてほしい。主要な取組の女性人権推進事業では、女性新法を追加してほしい。同じく多様性社会推進事業では、性的マイノリティには必ず困難があるという展開に違和感があるので、困難があれば、という表現の方が良いのではないか。また、性的マイノリティの根本的な理解促進が必要であるため表現を整理してほしい。

施策 36 について、起草委員会の意見のとおり、市では平和都市宣言をしているので、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞について記載があると良い。原爆投下から今年は 80 年目の節目であり、今後フェーズが上がるタイミングでもある。

施策 37 について、アンコンシャス・バイアスが無意識の思い込みと表現されているが、結局のところ女性への差別を指していると思うので言葉を変えてほしい。また、自治体によってはワークライフバランスではなくライフワークバランスと表現しているが、市の考えはどうか。

施策 39 について、やさしい日本語のパンフレットであっても、ある程度日本語が堪能でないと読めないため多言語化を入れてはどうか。起草委員会の意見にもあるが、生活ルールについて伝えることも大切であり、多言語化による対応が良いと思う。

○にしみや委員 全体について、起草委員で出された意見の反映が不十分なものが散見

資料 6 - 1

される。

施策 35 について、事前意見でも提出したが、LGBT に関する相談機能の強化が必要だと思う。

施策 40、施策 49 について、SNS との関係が気になっている。安心性も含めて情報通信機器の上手な活用が求められるだろうが、リテラシーにも十分に配慮される必要がある。

施策 52 について、市では、学童クラブの一部民営化に当たって基幹学童クラブの仕組みを取り入れているが、施策の方向性ではこれを維持する旨を記載してほしい。

○秋池委員 施策 41 について、現状と課題で、生涯学習センターの講座は勤労者や若年世代の参加が少ないとあるので、これに対応する主要な取組があると良い。

施策 46 について、スポーツの普及は重要だと思うが、高齢化が進展する中でスポーツと言うと敷居が高いため、有酸素運動やリズム運動といった健康寿命を延ばす運動の視点を検討してほしい。

○事務局 施策 46 へのご意見について、高齢者の健康増進の観点は施策 8 にも含まれることから、整理の仕方を検討します。

○竹内委員 施策 36 について、府中市平和都市宣言に含まれる核兵器廃絶の視点を踏まえた表現にしてほしい。

施策 37 について、ジェンダーについて触れる必要があると思う。用語としても説明が必要だが、ジェンダー意識の啓発につながる表現の検討をお願いしたい。

施策 42 について、有資格者である図書館司書の積極的な活用についても触れてほしい。

施策 46、施策 47 について、スポーツの促進においては、健康維持や健康増進、高齢者にとってはフレイル予防の視点があるので踏まえた表現にしてほしい。

施策 47 の体育施設の稼働率について、一般公開を稼働率 100% として扱うということは、1 人の使用でも 100% となることから、稼働率が実際よりも高く感じられてしまうのではないか。実際にどのくらいの市民が施設を使用しているのか、細かい表記で整理した方が良いのではないか。

○藤野委員 施策 35 について、指標における表現が古めかしく感じられ、疑義がある。

施策 39 について、多言語化といった視点もあるが、外国の方にはぜひ日本語を学んでほしいと思う。

○事務局 施策 35 の指標名について、これまで行ってきた調査との継続性も踏まえて

資料 6 - 1

調整します。

○**中島会長** 異なる視点が出された施策について、事務局は双方の意見を主管部に伝え、たうえで調整してください。

○**前川委員** 施策 4 4 について、美術館に関する記載を見直してほしい。豊富な収蔵品や市民スタジオの活用が特長であり、活性化していくことが大事だと思う。

施策 4 6 について、「継続してもらうような意識啓発」という表現に違和感がある。また、先ほど高齢者の話題が出たが、子どもの体力低下が著しい背景も踏まえ、子どものスポーツについて記載を検討してほしい。

施策 5 0 について、不登校児童・生徒に関する記載が多く目立つ。不登校と関係が深い発達障害や、医療的ケア児の記載がないので整理してほしい。また、合理的配慮についても記載してほしい。

施策 5 2 について、文化センターにおける子どもの居場所づくりを試行開始することから、先を見据えた記載にしてほしい。

施策 5 3 について、令和 7 年度から教育や福祉の分野で重層的支援が始まるので、青少年総合相談運営事業にも力点を置いてほしい。

その他について、「食育・プレコンセプションケア・性教育」を一つながりに取組を進めてほしいと考えているが、市教育委員会の資料では性教育の語が使われていない。生命を大切に、という表記になっているが、教育又は人権の施策で、性教育の重要性を盛り込めないか検討してほしい。

○**山本委員** 施策 4 9 について、「グローバル社会における人材育成」とは具体的に何を指すか。具体的な記載が良いと思う。また、めざす姿にある郷土愛に関連した取組等がなく、盛り込んだ方が良いのではないか。

施策 5 0 について、不登校に特化したような構成が気になる。また、不登校当事者を対象とした内容に読めるが、社会や学校の問題もあるため、根本的な解決に向けた前向きな姿勢を見せた方がよい。

施策 3 7 について、指標の内容が、男性と同様に外で働くことが女性のあるべき生き方と読めてしまうのではないかと懸念する。多様性が尊重される中で、子育てに専念したいという考えもあると思うので表現を調整してほしい。

○**事務局** 施策 4 9 について、「グローバル社会における人材育成」とは、国を超えて人・物が交流する社会において、語学だけでなく、コミュニケーション能力や異文化理解、チャレンジ精神などを育むことを指しています。

施策 3 7 の指標について、性別による固定的な役割意識の有無を問うもので、是非を

資料 6 - 1

問うものではないため、意図する内容が正確に伝わるよう表現を調整します。

○長崎委員 施策 3 7 について、「男女」という表現が多用されているが、施策 3 5 ではジェンダーフリーの趣旨が盛り込まれていることから齟齬を感じる。実際には言い換えが困難であることは承知しているが、意見とする。

○中島会長 施策間の整合性の問題なので、事務局は主管部と調整してください。

○西村委員 トレンドやキーワードのすべてを網羅することは困難だと思う。総合計画として、今後の 4 年間に向けて優先順位を付け、一部は「等」で丸めるなどの対応をしないと主題が見えづらくなってしまわないか。また、客観性が大事であるため主担当課は精査してほしい。

○中島会長 時間になりましたので、次の審議に移ります。次第 3 (2) 第 7 次府中市総合計画後期基本計画素案（基本目標 4）について、事務局は資料や考え方の説明をしてください。

○事務局 資料 5 - 6 - 2 に基づき、2 点ご説明します。まず、施策 6 3 と施策 6 5 について、取組や考え方に重複する部分があり、包括的な展開が望ましいという考えから統合を提案いたします。その他、施策名の変更を 4 件提案いたします。

○中島会長 順不同で構いませんので、ご意見がある方はいらっしゃいますか。

○市川委員 施策 6 9 について、指標に「農業体験に取り組んでいる市立小学校の割合」とあるが、幼稚園や保育園は対象としないか。幼児期からの体験が大切であり、実際に食育として取り組んでいる事例をよく耳にする。

○事務局 実施状況の把握の都合から小学校を対象にしていると思われませんが、主管部と調整します。

○にしみや委員 事前に提出した意見について 2 点補足し、1 点追加する。

施策 6 0 について、ケヤキ並木やその場所の意義に対する基礎認識は立場によって異なり、広場の一つと捉えている方もいると思う。歴史があり継承していくべきだという施策の考え方であれば、愛着を育む取組を位置付けるべきではないか。

施策 6 2 について、八潮市の道路陥没事故を受けて、国では下水道点検について議論が始まっていると聞く。その動きを踏まえて考える必要があると思う。

資料 6 - 1

施策 6 3 から施策 6 5 について、後期計画では、中小企業と商業を軸に施策が整理されているが、市には規模の大きな工業系の事業所やデータセンターが集積しており、財政にも大きく寄与している。個別の施策には組み込みづらと思うが、工業系の事業者が果たす役割や状況について、計画のどこかに盛り込むべきではないか。

○事務局 基礎自治体としてどこまで取り組めるか課題もありますが、重要な視点であることから、施策以外における記載も視野に検討します。

○中島会長 一つ上の視点となりますが、事務局は検討してください。

○秋池委員 施策 6 3 について、高齢化や後継者問題などの課題が挙げられているが、取組には金銭的な補助事業しか記載がなく、マッチングや企業の体質改善等の取組があると良い。また、中小企業における働き方改革の推進とは具体的に何を指すか。

○事務局 全体的な表現となっていますが、IT やシステムの活用による従業員の職場環境改善を想定しています。

○秋池委員 今後も勤め続けたい、又は、新しく人材が来るような、企業の魅力を増す内容が含まれると良いという趣旨で質問した。

○前川委員 施策 5 4 について、府中基地跡地とあるが留保地は付かないか。また、主要な取組の説明が唐突に思えるため、市民が読んで分かる内容とすることを重視してほしい。

施策 5 7 について、景観計画にも注釈があると良い。

施策 5 8 について、生活関連施設は法令により対象が異なるので説明があると良い。障害者などが参画する機会が設けられている点は良い。

施策 6 0 について、めざす姿の中ほどにある「民間事業者等」は不要ではないか。また、小学校や農業高校との連携で次世代のケヤキを育む取組があったので主要な取組に入れてほしい。

施策 6 2 について、起草委員会の意見にもあるが、雨水浸透ますに関する指標の説明が不十分である。

施策 6 6 について、起草委員会の意見にもあるが、「観光振興におけるシビックプライド」という表現では、定義や相互の関係性が分からないので表現を見直してほしい。

○中島会長 市民に分かりやすく読んでもらうためにも、用語や前提を分かりやすくすべきというのが大きな点だったと思う。施策 6 0 は冗長であるため整理してほしい。

資料 6 - 1

○**山本委員** 施策 6 8 について、現状と課題は、消費者目線では他人事になりかねない。食料自給率と絡めた記載にするなど、課題である理由をもう少し丁寧に説明すると良い。更に、農業が大切である理由まで踏み込むと施策 6 9 が生きてくると思う。

○**長崎委員** 施策 5 5 について、現状と課題 3 行目「誘導する」という表現に違和感がある。

施策 5 6、施策 6 1 について、質の高い建築物、安全な道路、と形容が異なっている。内容では具体の説明がされているが、本来はどちらも安全で良いのではないかと思う。

施策 5 7 について、魅力ある景観、府中らしい良好な景観、とあるが、価値観の違いもある中で、総合計画としてなじむ表現なのか疑問である。

施策 5 8 について、主要な取組で「効率的かつ安定的な運行業務を支援」とあるが、全国的にもコミュニティバスの運行が難しい中で、事業者視点にも立ち、企業努力や実態を踏まえた表現に調整することを強く希望する。

○**市川委員** 施策 6 8、施策 6 9 について、起草委員会の意見にもあるが、農業高校や農工大との連携に触れられていない。農業委員会では、教授や学生との意見交換などの検討を始めている。更に、JA についても触れられていないので検討してほしい。

○**竹内委員** 施策 6 8 について、指標の農地面積の目標値が下がっている。様々な課題があると思うが、市は農地を保全していく立場として取り組んでほしい。市民農園や体験型施設は借用による農地活用だと思うが、市が農地を所有して保全していくという考え方が必要ではないか。これは、施策 5 4 における都市農地を含めた公園緑地の保全・活用にもつながると思う。施策への反映は難しいかもしれないが、要望としたい。

施策 5 9 について、計画期間においては多磨駅周辺でもまちづくりが進むので、現状と課題で周辺の道路環境などに触れてはどうか。

○**事務局** 多磨駅周辺の道路環境について、施策 6 1 における都市計画道路や既存道路の改修等に含まれるものと考えています。

○**竹内委員** 施策 6 1 について、起草委員会の意見に対する回答で、無電柱化割合の掲載は困難とあるが、引き続き検討してほしい。また、狭あい道路における無電柱化についても検討してほしい。

○**中島会長** 施策 6 8 について、指標に農地面積とあるが、宅地化農地を含むかなど対象範囲が分からないので説明を加えてほしい。

資料 6 - 1

○**小山委員** 施策 6 8、施策 6 9 について、都市農業振興基本法施行から 1 0 年が経過し、農地の問題は極めて重要である。府中市における農地を残すということは食料安全保障の点からも重要であるので言及してほしい。

○**藤野委員** 施策 5 8 について、バリアフリーの観点があるが、高齢者や障害者専用のバスがあると良いと思う。

○**前川委員** 施策 5 9 について、今後、分倍河原、府中基地跡地留保地、多磨駅周辺と 3 か所でまちづくりが進んでいくと思う。多磨駅周辺の開発は民間の力によるところが大きいと思うが、市のまちづくりの推進には欠かせないと思うので盛り込んでほしい。

○**事務局** 以前、市が指導する事業であった多磨駅の駅舎や周辺道路の開発については総合計画に盛り込んでいました。今回は民間企業による開発であり、市の計画への記載は難しいかもしれませんが、主管部と調整します。

○**中島会長** 次に、次第 4 その他について、委員の皆さまから何かありますか。なければ、事務局から何かありますか。

○**事務局** 事務局から 4 点お知らせします。

(意見等の受付について、次回審議会開催日時について、起草委員会開催日時について、委員報酬について)

○**中島会長** 本日は以上で散会とします。皆さまありがとうございました。

以上